

# 意見交換の進め方について

- ・ 岩手県ふるさと振興総合戦略の取組状況や第96回総合計画審議会における皆さまからの御意見等を踏まえ、人口減少対策に当たり、令和4年度以降、「県が取り組む施策の方向性」を挙げています。
- ・ 次の「県が取り組む施策の方向性」に対しまして、皆さまの御専門の分野やそれぞれの視点から御意見・御提言をお願いします。

現状・課題	県が取り組む施策の方向性
<p>&lt;自然減&gt; ※</p> <p>①近年、他県に比べ、第1子出生数と関連がある婚姻件数が低下傾向</p> <p>②女性の就業が定着している中で、他県に比べ、子育て期の女性の仕事・通勤の時間が長い。</p> <p>③仕事・通勤の時間の長さに加え、育児・家事の負担など仕事と育児の両立の難しさがある。</p>	<p>①結婚支援の取組の強化、第2子以降の出産の安心につなげるための産前・産後サポートの拡充</p> <p>②男女ともに柔軟な働き方をできる制度の導入や長時間労働是正などの企業への働きかけ</p> <p>③プッシュ型の情報発信など育児支援に関する公的支援施策の周知、男女共同参画の推進</p>
<p>&lt;社会減&gt;</p> <p>①コロナ禍による地方志向の高まりを生かし、県外からの移住・定住の一層の促進が必要</p> <p>②移住・定住のターゲットとして県出身者が考えられるが、県外進学に伴い岩手とのつながりが弱まっている可能性がある。</p>	<p>①Iターンを含め短期・集中的に岩手に関心を持ってもらう取組を強化（「地方の関心」を「岩手の関心」へ）</p> <p>②高校在学中から地域の魅力に気づく機会を作り、岩手とのつながりを強める。</p>

※岩手県と同規模の人口の県（青森、石川、奈良、山口、愛媛、長崎、大分）との比較から明らかになった課題